

人口減少対策

「第2期豊岡市地方創生総合戦略」を策定しました

豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに対する自信と誇りを持つて住む人が増えている

2月21日に、2020年度から5年間を計画期間とする「第2期豊岡市地方創生総合戦略」を策定しました。

また、第2期豊岡市地方創生総合戦略の策定に合わせ「豊岡市人口ビジョン」を2015年国勢調査反映版として更新しました。

第2期豊岡市地方創生総合戦略

本市の地方創生は、人口減少対策です。

人口減少の最大の要因は、大都市に暮らす価値との比較において「豊岡に暮らす価値」が選ばれていなっています。

そこで「小さな世界都市・Local&Global City」を旗印として、突き抜けた「豊岡に暮らす価値と魅力」を創りあげるための施策を開拓していきます。第2期地方創生総合戦略では、第1期で創り上げ

た基礎と成果を基に新たな視点も加え、さらに発展させていきます。

定住する若者、とりわけ本市での女性の若者回復率が男性に比べて低いことから、若い女性を増やすことと、結婚する若者を増やすことを対策の柱に据えています。

※若者回復率 10歳代の転出超過数に対して20歳代の転入超過者数が占める割合

基本方針

新たな視点

▼多様性を受け入れるまちづくり

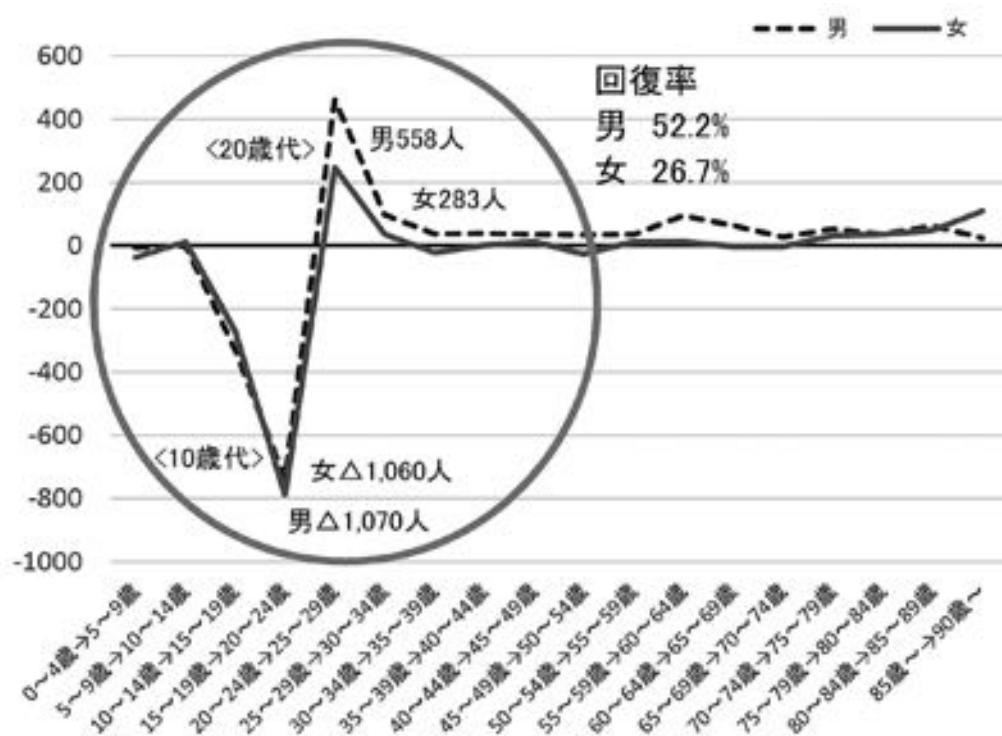
○女性に選ばれるまち(ジェンダー・ギャップの解消)

○外国人住民との共生推進

▼深さをもつた演劇のまちづくり

▼国際観光芸術専門職大学（仮称）との連携

《若者回復率(2010~15年)》



目指す姿と達成のための手段

5年後の姿	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている
指標	人口の社会減の緩和
取組みの6つの柱	1 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている 豊岡ファンミーティング、Uターン推進、Iターン推進 等
	2 多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている IT企業誘致推進、創業支援、豊岡鞆・豊岡財布技術向上支援、多文化共生推進等
	3 いきいきと暮らす女性が増えている ジェンダー・ギャップ解消推進、子育て中の女性の就労促進 等
	4 豊岡で人々が世界と出会っている インバウンド誘客推進、豊岡演劇祭協同開催、コウノトリ育むお米ブランド化推進 等
	5 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている ふるさと教育、高校生コミュニケーション教育等支援、非認知能力向上対策 等
	6 結婚したいと思う人が結婚できている 出会い機会創出、ボランティア仲人養成 等

問合せ
21-1902-2222
政策調整課

▼若者回復率を現在の50%から25年までに50%上げる。
引き上げる。2・3に引き上げる。

▼性別による出生率(1人の女性が生涯に持つ子どもの数)を、2040年の人口目標を6万2165人とする。(何よりも対策を講じなければ)

▼合計特殊出生率(1人の女性が生涯に持つ子どもの数)を、2040年の人口目標を5万7770人となる。

人口等の将来目標

減少は、15年後には、2010年よりも、減少幅が若干小さくなりましたが、15年後には、2010年770人が40年後には、60年には、5万8529人になると推計されます。

豊岡市人口ビジョン
(2015年国勢調査反映版)

将来推計人口

《2040年までの人口減少の破壊力イメージ(灰色の地域に相当する人口が消滅する)》

豊岡地域の56%が消滅

城崎・竹野・日高地域が消滅

城崎・竹野・出石・但東地域
と日高地域の13%が消滅



小さな世界都市 —Local & Global City—

人口規模は小さくても、世界の人々から尊敬され、尊重されるまち。豊岡という地域(Local)に深く根ざしながら世界で輝くまち。

